

名前： _____ 日付： _____ 月 _____ 日 / 100点 目安： 15分

学習のポイント

- 2段階の確率は樹形図で場合の数を数える
- 元に戻さない場合の確率の計算方法を理解する
- 身のまわりの問題を確率で考える力を養う

1 計算問題

各10点

- 1 箱Aに赤玉3個と白玉2個、箱Bに赤玉2個と白玉3個が入っている。箱Aから1個、箱Bから1個を同時に取り出すとき、2つとも赤玉である確率を求めなさい。 10点

答 _____

- 2 カードが5枚あり、そのうち2枚が当たりである。1番目、2番目と連続して1枚ずつ引くとき、1番目が外れで2番目が当たる確率を求めなさい。 10点

答 _____

- 3 コインを投げて表が出たら当選くじを引く。表が出る確率は $\frac{1}{2}$ 、当選くじが出る確率は $\frac{3}{4}$ である。表が出た場合に限り当選くじが引けるときの、表かつ当選する確率を求めなさい。 10点

答 _____

- 4 大小2個のサイコロを同時に投げるとき、少なくとも1つは6の目が出る確率を求めなさい。 10点

答 _____

2 文章題

各10点

- 5 袋の中に赤玉5個、青玉3個がある。1個取り出して色を記録し、玉を戻さずに再び1個取り出す（元に戻さずに取り出す）。2回とも赤玉である確率を求めなさい。 10点

答 _____

- 6 A、Bの2人が1個ずつサイコロを同時に投げるとき、出た目の和が5の倍数になる確率を求めなさい。 10点

答 _____

- 7 男子5人、女子3人の計8人から、2人を順番に選ぶ。1番目が男子で2番目が女子である確率を求めなさい。 10点

答 _____

3 選択問題

各10点

- 8 確率を求める際、「少なくとも1つは～」という条件の場合に計算を工夫する方法として正しいのはどれか。 10点

ア. 全ての場合を樹形図で書き出す

イ. 全体(1)から「そうならない確率」を引く

ウ. 確率を2倍にする

エ. 常に表を使う

- 9 袋から玉を「1個取り出して元に戻さずにもう1個取り出す」場合と「1個取り出して元に戻してからもう1個取り出す」場合の違いはどれか。 10点

ア. 元に戻さないとき2回目の全体の数が変わる

イ. どちらも確率に変化はない

ウ. 元に戻さない方が計算が簡単になる

エ. サイコロの問題と全く同じ確率になる

- 10 確率の問題を解く際に、樹形図と表の使い分けとして最も適切なものはどれか。 10点

ア. 常に樹形図を使うべきである

イ. 常に表を使うべきである

ウ. 問題の構造に応じて、より分かりやすい方法を選択する

エ. どちらを使用しても結果は同じなので、どちらでもよい